

武蔵野台地の 2 つの都市公園の利用実態調査

明星大学理工学部建築学科

学生会員 ○小林 俊範

明星大学理工学部総合理工学科

正会員 藤村 和正

1. 研究の背景と目的

都市において緑地や水辺は貴重な存在であり、著しく市街化の進んだ東京においては特に高い価値を有している。東京西部の武蔵野台地は、もともと湧水が豊富な地域であり、湧水池を中心とした公園が市民に親しまれている。そこで本研究で武蔵野三大湧水池として知られる井の頭池を有する井の頭恩賜公園と三宝寺池を有する石神井公園を対象に公園内の通行量の測定と公園の印象に関するアンケート調査を行い、利用実態を明らかにすることにより、湧水池をもつ都市公園の特徴を表すことを目的とする。

2. 調査概要

2-1. 通行量調査の概要

公園の利用実態を把握するために性別、年代など 22 の計測区分を設け、公園内の通行量調査を行った。調査地点は公園内でも代表的な地点を選定し、年代は調査員が「見た目」により判定した。

2-2. 公園利用に関するアンケート調査の概要

アンケート調査は、園内の利用者に対して直接声掛けをするヒアリング形式で行った。アンケート項目は、浅見が 2008 年に実施した井の頭恩賜公園の利用実態調査²⁾の項目を参考にし、性別、年代など被験者の利用形態を問う全 7 項目および公園に対する印象、被験者の居住区を問う項目を設定した。

3. 井の頭恩賜公園における利用実態調査

3-1. 通行量調査結果

平成 23 年 6 月から 11 月にかけて合計 9 日間実施した。調査場所は公園内で最も通行量が多いと思われる井の頭池の七井橋上に設定し、吉祥寺駅方向から来る歩行者を対象に測定した。表 1 に示す調査結果から、特徴として、女性の利用者が約 5 割以上を占め、年代別では 20 代、30 代の利用者が全体を平均し 4 割を超えている。平日と休日の比較では、休日は平日の約 2 倍の通行量が見られる。また、8 月、9 月には、小学生、中学生、高校生の利用者が増えている。

3-2. アンケート調査の結果

平成 23 年 5 月から 10 月にかけて合計 9 日間実施し、被験者は 211 人であった。調査結果を図 1 左に示す。特徴として、10 代は通り道、20 代、30 代は遊びや仕事の合間などの休憩、60 代、70 代では散歩やジョギングなどの運動目的としての利用が多く、年代ごとに利用目的が分かれている。また、図 2 左に示す利用者の居住地域では、近隣である三鷹市と武蔵野市からの利用が約 4 割ある。さらにその他の地域からの利用が約 5 割、他県からの利用も約 1 割を占めており、様々な地域からの利用が多いことが分かる。

4. 石神井公園における利用実態調査

4-1. 通行量調査結果

石神井公園での通行量の測定は、公園中央の入り口において、石神井池方向から三宝寺池方向に向かう歩行者を対象に、平成 23 年 10 月から 11 月にかけて合計 4 日間実施した。表 2 に示す調査結果より、男性の利用者が 5 割以上であり、年代は 50 代以上の利用者が 5 割以上である。また、平日は 500 人程度の通行量である

表 1 通行量調査結果（井の頭恩賜公園）

時間:10:00-15:00	性別	乳幼児	小低	小高	中学	高校	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計	男女%
6月14日(火) 曇り	男性	37	0	0	11	5	109	69	93	65	69	53	511	43
	女性	39	1	2	6	16	148	114	91	65	93	109	684	57
6月18日(土) 曇り/雨	男性	77	22	18	9	47	353	227	95	103	94	68	1113	47
	女性	83	31	15	17	35	454	236	172	98	80	50	1271	53
6月21日(火) 曇り/晴れ	男性	40	0	0	1	6	117	81	66	67	58	29	465	44
	女性	28	1	0	3	15	164	122	96	42	56	67	594	56
7月5日(火) 晴れ	男性	19	2	0	4	16	84	90	39	43	26	58	381	49
	女性	21	0	3	6	19	101	70	64	34	45	36	399	51
8月7日(日) 晴れ	男性	102	48	14	7	9	295	231	118	68	73	72	1037	46
	女性	93	35	45	15	49	361	252	178	77	72	49	1226	54
9月24日(土) 晴れ	男性	273	77	63	20	46	476	532	246	199	170	132	2234	48
	女性	239	99	85	41	112	465	491	440	212	143	91	2418	52
9月28日(水) 晴れ	男性	65	4	2	5	5	230	189	60	89	80	84	813	43
	女性	43	1	3	2	13	321	201	146	108	119	113	1070	57
10月5日(水) 雨	男性	2	1	0	0	10	59	43	16	23	22	19	195	37
	女性	3	4	10	1	21	85	35	52	45	55	27	338	63
11月25日(金) 晴れ	男性	44	3	11	16	12	179	172	70	105	110	134	856	45
	女性	58	1	0	5	14	226	188	146	125	142	146	1051	55
合計	男性	659	157	108	73	156	1902	1634	803	762	702	649	7605	46
	女性	607	173	163	96	294	2325	1709	1385	806	805	688	9051	54
平均	男性	73	17	12	8	17	211	182	89	85	78	72	844	46
	女性	67	19	18	11	33	258	190	154	90	89	76	1005	54

表 2 通行量調査結果（石神井公園）

時間:10:00-15:00	性別	乳幼児	小低	小高	中学	高校	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計	男女%
10月12日(水) 晴れ/曇り	男性	2	9	9	0	2	14	19	16	56	93	44	264	54
	女性	9	4	1	0	1	9	21	23	44	55	59	226	46
11月13日(日) 晴れ	男性	28	29	10	3	2	48	112	63	87	156	64	602	55
	女性	38	33	21	5	1	46	67	87	55	80	53	486	45
11月27日(日) 晴れ	男性	46	6	7	2	6	42	82	55	94	142	110	592	55
	女性	28	15	7	3	2	33	77	80	72	100	67	484	45
12月16日(金) 晴れ	男性	12	1	3	0	0	8	13	12	37	63	50	199	54
	女性	16	0	0	0	2	3	22	23	28	39	34	167	46
合計	男性	88	45	29	5	10	112	226	146	274	454	268	1657	55
	女性	91	52	29	8	6	91	187	213	199	274	213	1363	45
平均	男性	22	11	7	1	3	28	57	37	69	114	67	416	55
	女性	23	13	7	2	2	23	47	53	50	69	53	342	45

のに対して、休日は1000人程度の通行量となっている。
井の頭恩賜公園と利用状況を比較すると、高齢の男性
利用者が多い傾向となっている。

4-2. アンケート調査の結果

平成23年10月から11月にかけて合計2日間実施し
被験者は40人であった。図1右に示す調査結果から、
自然鑑賞や運動目的の利用が多く、また、釣りや公園
風景のスケッチなどの利用も見られた。図2右に示す
利用者の居住地域では、石神井公園がある練馬区から
の利用者が全体の7割であり、その他が約4割を占め
ている。主に近隣地域の住民が利用していることが伺
える。

5. 公園の利用者意識に関する分析

公園に対する利用者の意識を明らかにするために全
15項目の質問事項について因子分析を行った。分析手
法は、バリマックス法により直行回転を行い、固有値1
を目安として因子負荷量が0.5以上の変数で因子構成
要素をまとめた。

5-1. 井の頭恩賜公園に対する印象

井の頭公園についての因子分析結果を表3に示す。
第一因子は「設備・利用性」、第二因子は「満足度」、
第三因子は「景観・雰囲気」と解釈した。公園利用者
は井の頭恩賜公園に対する印象として、設備面で充実
しており、景観、歴史にも満足していることが考えら
れる。

5-2. 石神井公園に対する印象

石神井公園についての因子分析結果を表4に示す。
第一因子は「景色」、第二因子は「健康運動」、第三因
子は「憩い」、第四因子は「ふれあい」と解釈した。利
用者は石神井公園に対し、一般的な公園の要件である
運動・健康促進、レクリエーションといった面での印
象を持っている。井の頭恩賜公園と比較すると「水の
色」が上位にきており、池自体に対する意識が表れて
いると言える。

6. まとめ

井の頭恩賜公園は広範囲から利用者が訪れる広域型
で、石神井公園は近隣からの利用がメインの地域密着
型であるということが示された。また、井の頭恩賜公
園周辺は、商業施設やオフィスビルなどが多く、様々
な年代の人が訪れる環境であり、一方、石神井公園は
住宅地に囲まれた水辺、緑を有する公園であり、同じ
湧水池を持つ公園でもこのような周辺環境の違いが利
用者特性の違いとして表れていると考えられる。

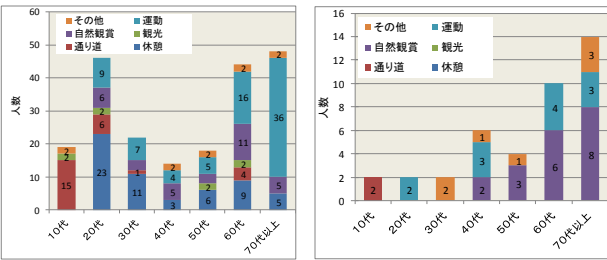


図1 年代別利用目的

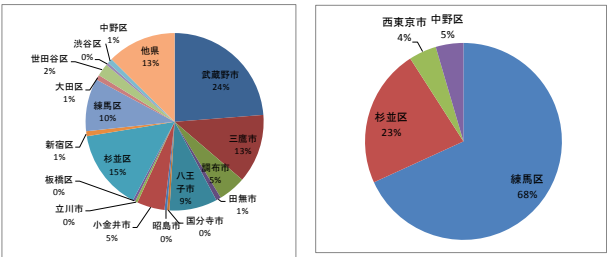


図2 被験者の居住地域

表3 因子分析結果（井の頭恩賜公園）

解釈	変数	因子1	因子2	因子3
設備利用	掲示板・展示を見る	0.721	0.260	0.154
	歴史を感じる	0.564	0.231	0.327
	設備に満足	0.534	0.352	0.301
	健康のための利用	0.517	0.576	0.005
満足度	安心・安全	0.319	0.703	0.118
	総合的な満足度	0.180	0.627	0.365
景観 雰囲気	水辺景観	0.261	-0.027	0.718
	コミュニケーションの場	0.171	0.172	0.631
	森林・自然が多い	0.042	0.190	0.500
	固有値	1.957	1.859	1.716
	寄与率	15.05%	14.30%	13.20%
	累積寄与率	15.05%	29.35%	42.55%

表4 因子分析結果（石神井公園）

解釈	変数	因子1	因子2	因子3	因子4
景色	歴史を感じる	0.863	0.339	0.033	0.151
	総合的な満足度	0.812	0.035	0.280	0.013
	池の水の色	0.765	0.080	0.313	0.178
健康運動	健康のための利用	0.069	0.926	0.105	-0.029
	散歩に利用	0.281	0.888	0.338	0.011
憩い	楽しめる場所	0.469	0.350	0.760	-0.081
	安心・安全	0.268	0.230	0.685	0.169
	水辺景観	0.428	0.151	0.629	0.155
ふれあい	コミュニケーションの場	0.342	0.298	-0.006	0.768
	森林・自然が多い	0.038	-0.297	0.052	0.552
	固有値	3.036	2.163	2.139	1.213
	寄与率	25.30%	18.02%	17.82%	10.11%
	累積寄与率	25.30%	43.32%	61.14%	71.25%

本研究は、公園利用の実態把握の一つの手法であり、
今後の効率的な公園整備のための資料や指標として有
効であると考えている。

本研究を進めるにあたり、深いご理解とご協力を賜
りました東京都西部公園緑地事務所および東京都東部
公園緑地事務所の関係者各位に感謝の意を表します。

【参考文献】

1) 東京都・特別区・市町：都市計画公園・緑地の整備方針、東京都都市整備局資料、2006.

2) 浅見拓哉・藤村和正：井の頭恩賜公園を対象とした都市公園の利用実態に関する調査研究、土木学会関東支部技術研究発表会梗概集、IV-44、2009.

3) 石川幹子：都市と緑地、pp191-268、岩波書店、2001.

4) 田中正大：東京の公園と原地形、pp29-90、けやき出版、2005.